



2022年12月期 **株主通信**

2022年1月1日～2022年12月31日



株主のみなさまへ

経営理念

私たちは、女性のライフステージを応援します。
 私たちは、相手の立場に立って考えます。
 私たちは、コンプライアンスを推進します。
 私たちは、事業を通して社会貢献致します。

ビジョン

女性が活躍する社会の創造

戦略

女性が活躍する事業展開



トップインタビュー

代表取締役社長
池内 比呂子

Q 事業コンセプトと2022年12月期の決算内容についてご説明ください。

●事業コンセプト

当社グループは、“女性”が育児をしても、家事をしても、介護をしてもなお、働き続けるためには、「いったい何が 필요한のか」を基本に事業展開してまいりました。豊かな社会を築くためには、あらゆる場面でさまざまな発想で多くの知恵を出すことが必要です。そういった「より私らしく」と願う女性たちに対してサービスを提供することを事業コンセプトとしております。

女性が活躍する事業展開 ～育児・家事・介護をしても働き続けられる事業～



●2022年12月期決算内容

2022年12月期の決算は、増収減益となりました。
 売上高は12,128百万円（前期比5.9%増）、営業利益は154百万円（同67.0%減）、経常利益は156百万円（同65.6%減）、親会社株主に帰属する当期純損失は27百万円（前年は237百万円の利益）となりました。

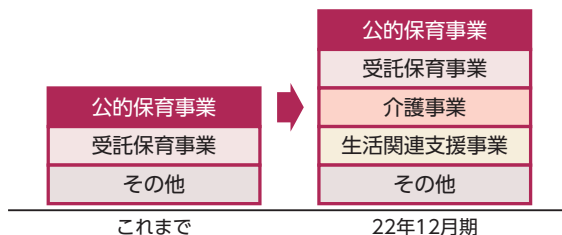
Q 当連結会計年度における報告セグメントについてご説明ください。

当社グループは、当連結会計年度において、株式会社フォルテの全株式を取得し連結の範囲に含めたことにより、「介護事業」を新たに報告セグメントに追加しております。さらに、株式会社ホームメイドクッキングの全株式を取得し連結の範囲に含めたことにより、「生活関連支援事業」を新たに報告セグメントに追加しております。

したがって、当連結会計年度における当社グループの報告セグメントは、「公的保育事業」、「受託保育事業」、「介護事業」、「生活関連支援事業」の4つとなっております。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

〈報告セグメント新規構成図〉



〈2022年12月末 地域別セグメント別施設数明細表〉

	公的保育事業		受託保育事業			介護事業	生活関連支援事業	その他	合計
	認可	小規模認可	受託保育所	学童保育所	わいわい				
首都圏	34	4	3				24		65
九州	3	10	120	59	32		2	8	234
関西東海	9	5	7			4	19	1	45
その他							11		11
合計	65		221			4	56	9	355

公的保育事業

売上高 7,528百万円 (前期比 1.7%▲)
セグメント利益 577百万円 (前期比 25.2%▲)

公的保育事業では、首都圏を中心に認可保育所65施設を運営しております。

また、2023年4月には、東京都中央区に新規施設を開設する予定でございます。

介護事業 (新セグメント)

売上高 481百万円
セグメント利益 35百万円 (当連結会計年度に11カ月寄与)

介護事業では、2022年1月に子会社化した、株式会社フォルテが運営する、住宅型有料老人ホーム3施設、サービス付高齢者向け住宅1施設の運営をしております。

その他

売上高 638百万円 (前期比 9.3%▲)
セグメント損失 12百万円 (前年は20百万円の損失)

幼稚園や保育所等に対する保育人材の派遣、ベビーシッターサービスの提供、保育士資格習得等を支援するテノスクール (tenoSCHOOL) の運営、認可外保育所、地域型保育事業施設、介護施設 (デイサービス)、結婚相談所事業「テノマリ」、プラットフォームサイト「保活アシスト」の運営等を行っております。

受託保育事業

売上高 3,346百万円 (前期比 3.8%▲)
セグメント利益 59百万円 (前期比 57.1%▲)

受託保育事業では、病院や企業等が事業所内で開設した保育所の受託及び運営、各自治体による学童保育所の受託及び運営、福岡市放課後等の遊び場づくり事業 (わいわい広場) を受託運営しております。

生活関連支援事業 (新セグメント)

売上高 134百万円
セグメント利益 19百万円 (当連結会計年度に1カ月寄与)

生活関連支援事業では、2022年11月に子会社した、株式会社ホームメイドクッキングが運営する、料理教室56施設の運営をしております。

※セグメント別の業績は、セグメント間取引の相殺前の数値です。

Q 2022年12月期の主なトピックスをご説明ください。

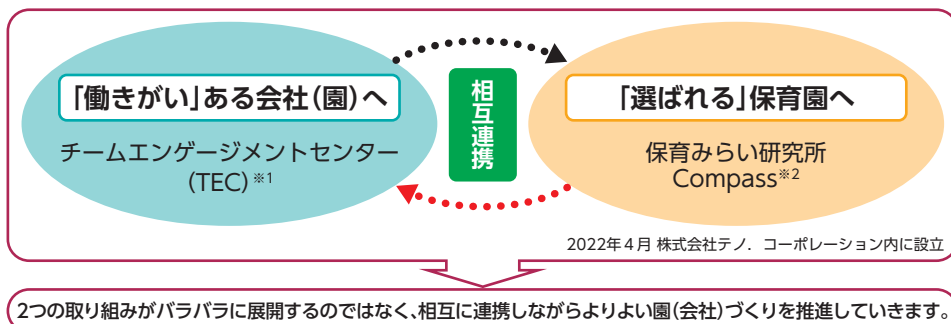
●株式会社フォルテの株式取得

2022年1月31日に介護事業のサービスラインナップ拡充を目的として株式会社フォルテの株式を取得いたしました。

介護事業、高齢者向け住宅の運営事業を行っており、大阪府内に4つの施設を運営しております。



●「teno VISION 2030」を実現するための取り組みを開始



※1：TECとは、職員一人ひとりにとって「いきいき働ける会社」「働き続けたい会社」であるために、「働きがい」に着目し本部・保育園が一体となって企画・推進するプロジェクト組織です。

※2：「保育みらい研究所 Compass」とは、「保育園での豊かな実践の共有と学び合い」、「保育・教育・子ども子育ての専門家との共創」のためのプラットフォームです。

●『保活アシスト』がキッズデザイン賞・グッドデザイン賞を受賞

- ・第16回キッズデザイン賞受賞 (2022年8月24日)
- ・2022年度グッドデザイン賞受賞 (2022年10月11日)
- ・保護者と保育園をつなぐプラットフォームサイト「保活アシスト」



女性のライフステージを応援する株式会社テノ、サポートがリソースしました、保育施設・保護者さま双方の課題を解決するプラットフォームサイト「保活アシスト」が、特定非営利活動 (NPO) 法人キッズデザイン協議会主催の「第16回キッズデザイン賞」及び公益財団法人日本デザイン振興会主催の「2022年度グッドデザイン賞」を受賞しました。

●株式会社ホームメイドクッキングの株式取得

2022年11月30日に食を通じた新たなイノベーションの創出を目的として株式会社ホームメイドクッキングの株式を取得いたしました。

料理教室ホームメイドクッキングは、創業以来50年の運営実績を持つ高いブランド力を有し、全国に直営校56校、指定校300校を運営しております。



Q 2023年12月期の業績予想と配当予想、SDGsへの取り組みのご説明をお願いします。

●業績予想

2023年12月期は、増収増益予想です。
売上高は15,170百万円（前期比25.1%増）、営業利益は320百万円（同107.5%増）、経常利益は285百万円（同82.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は137百万円（前年は27百万円の損失）を見込んでいます。

〈増収・増益予想〉

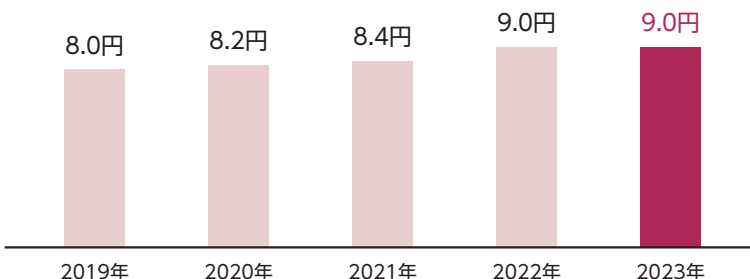
(単位：百万円)	2022年 12月期実績	2023年 12月期予想	増減率	増減額
売上高	12,128	15,170	+25.1%	+3,041
営業利益	154	320	+107.5%	+165
経常利益	156	285	+82.0%	+128
親会社株主に帰属する当期純利益	▲27	137	-	+164

●配当予想

配当金は2022年12月期の9.0円と同じく2023年12月期も1株当たり9.0円を予定しております。

当社は、将来の事業展開と財務体質強化のため必要な内部留保を確保しつつ、安定的な配当を継続して実施していくことを基本方針としております。

〈2023年12月期 配当金予想〉



●SDGsへの取り組み

当社グループはSDGsの課題解決を重要な経営課題と捉え、ジェンダーに関係なく、個人のライフステージに合わせて働き続けられる社会の実現を目指し、国際社会が追求する社会課題の解決に貢献することで企業価値の向上と持続的な社会の実現に取り組みます。

テノ、グループは「ジェンダー平等」にコミットします

公共のサービス、インフラ及び社会保障政策の提供、ならびに各国の状況に応じた世帯・家族内における責任分担を通じて、無報酬の育児・介護や家事労働を認識・評価する。

政治、経済、公共分野でのあらゆるレベルの意思決定において、完全かつ効果的な女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保する。

テノ、グループの貢献	設定する指標 (KPI)	現状	数値目標
従業員の男女隔てなく世帯・家族内における責任を担える環境を作ることで、家事労働を支援します。	男女別育児休暇取得率	2022年 男性 100.0% 女性 95.5%	2025年 男性 60.0% 女性 100.0%

テノ、グループの貢献	設定する指標 (KPI)	現状	数値目標
女性のリーダーシップの発揮の機械が担保され、女性目線でのサービス創出が強みになる社風を確立します。	管理職に占める女性の割合 ※()内は現場含む数値	2022年 28.0% (85.0%)	2030年 50.0% (87.5%)

Q 長期ビジョン「teno VISION 2030」についてご説明ください。

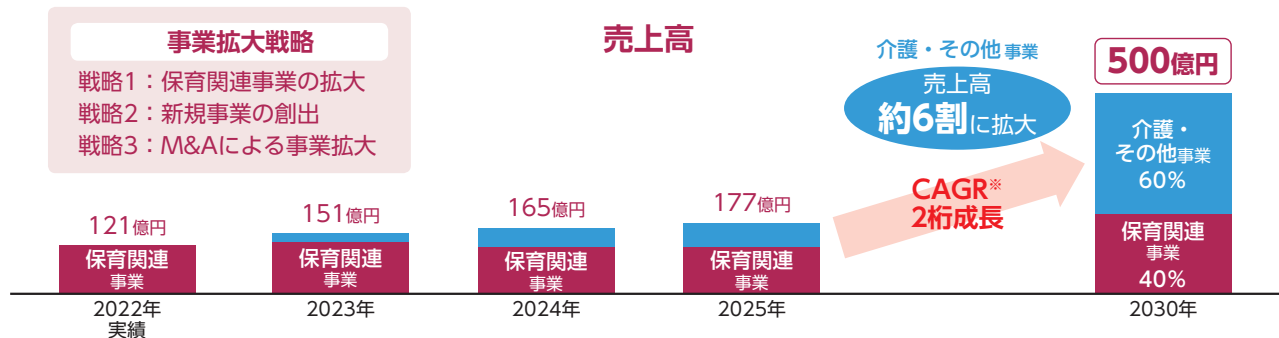
teno VISION 2030とは、2020年2月に策定した、当社が社会的な要請や多様化するニーズにしっかりと応えることができる企業集団となるための長期計画であります。

「teno VISION 2030」

時代に求められるサービスを提供するプロフェッショナル集団となり、働き手にとって最も自己実現が可能な家庭総合サービスグループを目指す。



長期ビジョン「teno VISION 2030」による事業拡大イメージ



※CAGR：Compound Annual Growth Rate 年平均成長率

Q 直近のトピックスをご説明ください。

2023年
1月

セーフティージャパン・リスクマネジメント株式会社の株式取得

女性のライフステージに応じた保険サービスの開発・提供を目的として、2023年1月26日に「セーフティージャパン・リスクマネジメント株式会社」の株式を取得して子会社化いたしました。事業内容は、賃貸住宅向けの少額短期保険の開発・販売をしております。また、顧客のニーズに合わせた保険開発を行うことが可能であり、500を超える販売代理店網を有しております。



2023年
4月

株式会社テノ・コーポレーションと株式会社テノ・サポートが合併します

企業構造のスリム化により経営資源の有効活用と業務効率改善を行い、事業基盤の強化を図ることを目的として、2023年4月1日予定で当社の100%子会社である「株式会社テノ・コーポレーション」を存続会社とし、同じく当社の100%子会社である「株式会社テノ・サポート」を消滅会社とする吸収合併を行います。

teno.
CORPORATION

全国展開の
認可保育サービス
【ほっぺるランド】他



小規模
認可保育サービス
【ほっぺるランド】他



+

teno.
SUPPORT

【院内・事業所内 保育所】 	【学童保育所等】 	
ベビーシッターサービス 	介護サービス 	保活事業 
テノスクール (tenoSCHOOL) 	人材派遣サービス 	結婚相談所事業 

2023年
4月

ほっぺるランド相生橋つくだを新規オープン



2023年4月1日に「ほっぺるランド相生橋つくだ（住所:東京都中央区三丁目2番）」を新規オープン予定です。

●保育理念

子どもには、安全な環境の中で身体的・精神的発達が行われる養護と教育が一体となった保育を提供します。

家庭のワークライフバランスを実現できる育児支援を行い、地域の人々や関係各機関と連携し、未来を担う子どもの成長を共に喜び合います。



会社概要

商号 株式会社テノ・ホールディングス
資本金 453百万円
所在地 〒812-0036
福岡県福岡市博多区
上呉服町10番10号
呉服町ビジネスセンター5F
主な事業内容 子会社の経営指導

役員

代表取締役社長 池内 比呂子
取締役 岡田 基彦
取締役(社外) 渡辺 顕好
取締役(社外) 柳瀬 隆志
監査役(常勤) 小田 隆史
監査役(社外) 古賀 光雄
監査役(社外) 宮野 祐輔

株式の状況 (2022年12月31日現在)

発行可能株式総数 13,320,000株
発行済株式の総数 4,685,700株
(注) 新株予約権(ストックオプション)の行使により、発行済株式の総数は2,400株増加しております。

株主数 2,013名

所有者別株式分布状況



連結貸借対照表 (要約)

(単位:百万円)

科目	2021年12月期 2021年12月31日	2022年12月期 2022年12月31日
流動資産	3,215	3,989
売掛金	980	—
売掛金及び契約資産	—	1,147
固定資産	4,079	5,333
うち有形固定資産	1,675	1,728
うち無形固定資産	819	1,865
うち投資その他の資産	1,584	1,739
資産合計	7,294	9,323
流動負債	2,427	3,739
うち短期借入金	550	1,140
うち1年内返済予定の長期借入金	444	652
うち未払金	718	801
固定負債	2,535	3,402
うち長期借入金	2,390	3,137
純資産合計	2,331	2,180
負債・純資産合計	7,294	9,323

連結損益計算書 (要約)

(単位:百万円)

科目	2021年12月期 2021年1月1日から 2021年12月31日まで	2022年12月期 2022年1月1日から 2022年12月31日まで
売上高	11,454	12,128
売上総利益	1,801	1,744
営業利益	467	154
経常利益	455	156
親会社株主に帰属する当期純利益または 親会社株主に帰属する当期純損失(▲)	237	▲27

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	2021年12月期 2021年1月1日から 2021年12月31日まで	2022年12月期 2022年1月1日から 2022年12月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	292	297
投資活動によるキャッシュ・フロー (フリー・キャッシュ・フロー)	▲251	▲967
財務活動によるキャッシュ・フロー	41	▲670
現金及び現金同等物の増減額(▲は減少)	▲119	367
現金及び現金同等物の期首残高	1,865	1,745
現金及び現金同等物の期末残高	1,745	2,113

株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会 毎事業年度末日の翌日から3ヶ月以内
期末配当金 毎年12月31日
株主確定日 (中間配当をする場合は6月30日)
単元株式数 100株
公告方法 電子公告とします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合の公告方法は、日本経済新聞に掲載する方法により行う。

公告掲載URL <https://www.teno.co.jp/>

上場証券取引所 東京証券取引所 プライム市場
福岡証券取引所 本則市場

株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社

お問い合わせ先 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
tel: 0120-288-324 (フリーダイヤル)
受付時間 平日9:00~17:00
詳しくは、下記のページにてご確認ください。
<https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/>

株主の皆さまの声をお聞かせください

コエキク

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスキー入力後に表示される
アンケートサイトにてご回答ください。

<https://koekiku.jp>

アクセスキー 7037Nc8b



スマートフォンから
カメラ機能で
QRコードを読み取り
アンケートにお申し込みください。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝を呈進させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する
「コエキク」サービスにより実施いたします。
<https://www.pronexus.co.jp/>

アンケートのお問い合わせ
「コエキク事務局」
✉ koekiku@pronexus.co.jp